

## 1 1 塩原地区

### ■ 平成 17 年の人口・高齢化率

- 人口 : 3,306 人
- 高齢化率 : 31.2%

### ■ 平成 27 年（目標）

- 人口 : 2,786 人（-15.7%）
- 高齢化率 : 44.7%（+13.5 ポイント）

### ■ 平成 37 年（目標）

- 人口 : 2,162 人（-34.6%）
- 高齢化率 : 53.5%（+22.3 ポイント）



### 現状

- ・本市の特徴である自然豊かな山並みを形成する森林が広がっており、清流箒川が流れ、地区中心部には温泉街が形成されています。
- ・東西交通軸である国道 400 号沿いには運動公園、プレイパーク、南北軸の日塩もみじラインに沿っては放牧場やキャンプ場、スキー場が位置し、観光・リゾート軸を形成しています。
- ・地区中央部には高冷地野菜の生産地が広がり、農業生産が盛んです。
- ・総じて、自然環境が豊かであり、それを活かした土地利用や産業が展開されています。

### 課題

- ・全体的に人口減少と高齢化が著しく進行しているため、高齢化対策や住みよいまちづくりによる定住の促進が求められています。
- ・国道 400 号などでは、観光シーズンを中心に大渋滞が発生し、地区の生活交通が機能しないことが多々あります。
- ・近年、塩原温泉地区の入込者数が停滞している中、宿泊者数は減少を続けており、各種基盤の整備やまちの景観への配慮などによる魅力ある温泉街の形成と観光産業の活性化が求められています。
- ・林業の停滞や後継者不足などを背景に管理が行き届かない森林がみられるようになり、自然豊かな山林の維持・保全に向けて、管理・活用が求められます。

### まちづくりの目標

- 『豊かで清らかな流れを守り育てる 温泉文化の郷—塩原』
  - ・温泉街における活気とにぎわいのあるまちづくり
  - ・箒川沿いの自然環境や景観を重視したまちづくり
  - ・豊富な自然資源（緑、水等）や、農業資源を最大限に活用したまちづくり

## まちづくりの方針

### 1) 温泉街の活性化

- ・歩道の整備や電線類の地中化、ポケットパークの整備、国道 400 号バイパスの延伸等による温泉街プロムナードの整備を推進し、まち巡りのしやすい環境づくりを進めます。
- ・湯っ歩の里を、休息の場、情報提供の場あるいはイベント等が行われる集いの場として観光客が集い賑わう滞留拠点として位置づけ、周辺の文化施設や商業施設等と一体的に“温泉街の顔”としていきます。
- ・古町・門前商店街を観光客が楽しく歩ける「湯の街通り」として、品格のある新しい歩道環境づくりを行います。また、沿道の建物を周辺の自然と調和したデザインとするとともに、地域住民によるオープンカフェや街角ギャラリーで賑わいのあるまちづくりを進めます。
- ・箒川に沿って水辺に親しむ場を整備するとともに、温泉街からアプローチとなる遊歩道や吊橋、休息・展望広場等を整備し、溪谷の魅力を十分活かした美しい温泉街を形成します。
- ・『文化温泉郷ー塩原』の再生を目指して、社寺をはじめ民間で所有する文化財、伝統工芸品、技術者等を見学する場と機会を設け、温泉街の滞留する魅力を高めるとともに、塩原温泉の各所で文化に触れる機会を積極的に生みだします。
- ・周辺の運動公園、箱の森プレイパーク等のレクリエーション機能及び歴史・文化資源のネットワーク化を図り、温泉街を訪れた観光客にとって魅力的な観光ゾーンの形成を図ります。
- ・全体的に、道沿い・川沿いの歩行の場づくりと併せて、溪谷と山並みの自然に溶け込んだ美しい温泉街の風景づくりを進めます。

### 【まちづくりのメニュー】

- ・道路の整備（温泉街道路のプロムナード整備（門前～古町）、温泉街道路における安全な歩行空間の確保（福渡～畑下）、青葉通りと温泉街道路とのアクセス整備、ポケットパーク整備）
- ・河川・遊歩道等の整備（親水性が高い護岸の整備、水辺への遊歩道の整備、吊橋のライトアップ、休息広場・眺望広場の整備）
- ・景観整備（沿道・河川沿いの美化、看板類の調和、建築物の外観の調和（河川側からも景観に配慮する、古町・門前商店街）、温泉街の景観重点地区への指定の検討）
- ・滞留拠点“湯っ歩の里”周辺の整備（周辺の店舗の集合化・共同化の促進）
- ・ビジターセンターや県営駐車場周辺の整備
- ・社寺の文化遺産の積極的な活用と文化遺産、伝統工芸等の調査・発掘・展示
- ・文化の回廊・ネットワークの形成（国道沿い・河川沿いの道路・遊歩道との連結）
- ・箱の森プレイパークの再整備

## 2) 生活者・観光者のための道路網の整備

- ・国道 400 号において、回顧の滝周辺の眺望地点の整備や、ゆとりある道路側帯における小駐車場等、眺望を最大限に活かした整備を行います。
- ・もみじライン沿線における広葉樹の植林などの整備、眺望点の確保による魅力的な道路づくりを行い、矢板市からのアクセス、ハンターマウンテンから北のレクリエーション集積地までの観光リゾート軸を強化します。

### 【まちづくりのメニュー】

- ・国道 400 号中塩原バイパス、下塩原バイパスの整備
- ・自然体験・農業体験の観光ルートの構築と受け入れ基盤整備

## 3) 自然体験拠点の再生

- ・大沼公園などの自然体験の拠点を再整備します。
- ・温泉街周辺などの山間部を、自然体験のフィールドとして積極的に活用していきます。
- ・森林については、一部、新たに都市住民の手を借りるなどして、適正な管理・維持更新を図ることで保全を進めます。

### 【まちづくりのメニュー】

- ・大沼周辺園地整備
- ・自然体験フィールドの整備

## 4) 観光と結びつけた新たな農業の展開

- ・高冷地野菜の優良生産地については今後とも保全を図るとともに、グリーンツーリズムの発展によりさらに都市生活者との交流を深めるなど、地区特有の高冷地野菜を活用した交流拠点を形成し、観光地しおぼらの魅力的な資源の一環として、その充実を図ります。

### 【まちづくりのメニュー】

- ・グリーンツーリズムの促進と上塩原の農業地域での展開
- ・自然体験・農業体験の観光ルートの構築

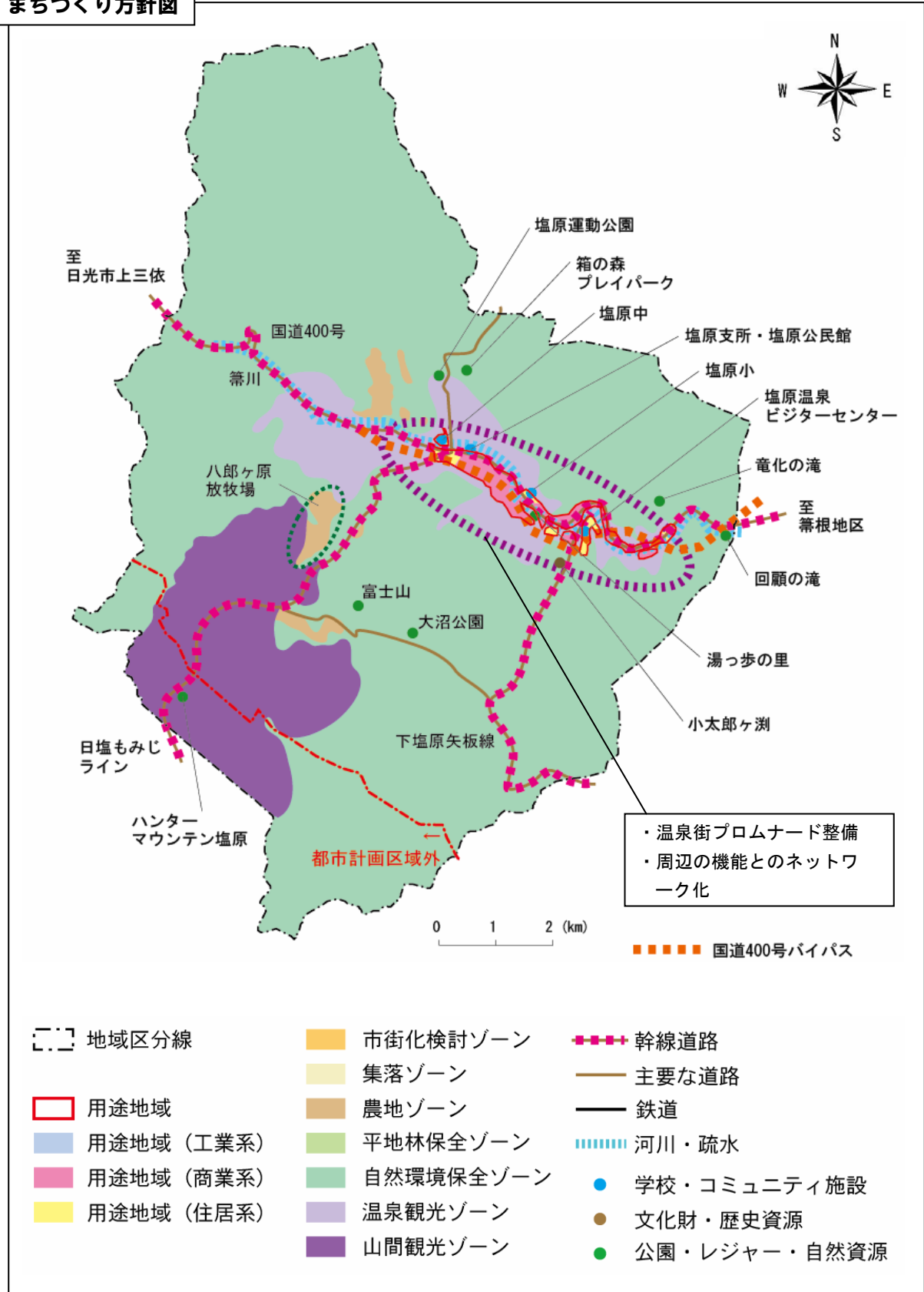


塩原温泉街



湯っ歩の里

まちづくり方針図



## 1 2 箒根地区

### ■ 平成 17 年の人口・高齢化率

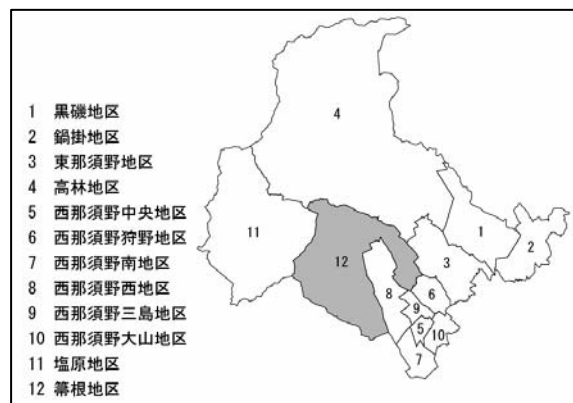
- 人口 : 5,386 人
- 高齢化率 : 24.7%

### ■ 平成 27 年 (目標)

- 人口 : 5,528 人 (+2.6%)
- 高齢化率 : 34.7% (+10.0 ポイント)

### ■ 平成 37 年 (目標)

- 人口 : 5,399 人 (+0.2%)
- 高齢化率 : 43.9% (+19.2 ポイント)



### 現状

- ・地区の西半分は山林であり、日光国立公園や県の指定による自然環境保全地域があります。
- ・関谷地区では土地区画整理事業がなされ、住居系及び工業系の用途地域が指定されています。
- ・東西方向に国道 400 号が横断しており、東は西那須野駅、西は塩原温泉へと結ばれている主要交通軸となっています。
- ・平野部では、整備された農地が広がり、平地林や集落と一体となって豊かな田園景観が形成されています。
- ・県道矢板那須線などでは、緑あふれる沿道景観が保全されています。
- ・道の駅「アグリパル塩原」が運営されており、地場農産物の販売や情報拠点として、また塩原温泉の玄関口としても賑わいをみせています。
- ・塩原ダムが、地区で最も大きい水辺資源として位置づけられています。

### 課題

- ・土地区画整理事業区域においては保留地の処分や宅地化があまり進んでおらず、宅地化の誘導が必要です。
- ・平野部においては民間開発が点在して行われており、平地林の保全や周辺環境との調和など、開発のルール等による位置や質の誘導が求められています。
- ・後継者不足や高齢化など農家の経営環境は厳しいことから、農業の活性化を図り、農地を保全していくことが重要です。
- ・県道矢板那須線などの沿道景観の保全に向けて、継続的な取り組みが求められます。

### まちづくりの目標

- 『水と緑と個性を活かした景観整備による 新たなまちづくり』
  - ・農地や平地林と調和した住みよい住宅地づくり
  - ・地域観光拠点の整備・充実によるにぎわいの拡大
  - ・旧関谷宿における宿場町としての魅力的な雰囲気再現

## まちづくりの方針

### 1) 関谷地区における住みよい市街地形成の促進

- ・土地区画整理事業区域内の宅地化を促進し、自然・田園環境の中で豊かに暮らせる住宅地の形成を図ります。

#### 【まちづくりのメニュー】

- ・魅力ある住宅市街地形成の誘導
- ・保留地の販売・処分の推進

### 2) 道の駅周辺の整備

- ・塩原の玄関口である関谷地区の拠点として、観光情報提供機能の強化等により道の駅（アグリパル塩原）の充実を図ります。

#### 【まちづくりのメニュー】

- ・観光案内所の整備
- ・休息・滞留の場の整備

### 3) 農業の振興による農地と田園景観の保全

- ・整備された農地において農業をしやすい環境づくりと振興を図り、農地と田園景観の保全を図ります。
- ・アグリパル塩原をはじめとした地区内観光施設において、地場農産物の流通の確立と料理・土産品への活用等を進めるとともに、体験農業等を推進することで、農業の活性化を図ります。

#### 【まちづくりのメニュー】

- ・かんがい排水施設や農道の整備
- ・農地の保全
- ・農業・農村の体験・学習機会の提供
- ・地場農産物の流通の確立

### 4) 国道 400 号バイパス及び矢板那須線沿道の景観の保全

- ・本市ならではの緑あふれる景観が形成されている国道 400 号バイパス及び矢板那須線沿道については、今後も緑の保全を図ります。
- ・観光客を中心対象とした集客施設の立地等に対しても、周辺の緑と調和するよう、誘導を図ります。

#### 【まちづくりのメニュー】

- ・景観条例に基づく沿道景観の保全
- ・土地開発事業指導要綱等に基づく緑化の誘導

## 5) 旧関谷宿の歴史を活かした景観の整備

- ・旧関谷宿の歴史を物語る遺産・史料の展示、商店街における景観やサインの整備によって、宿場町としての雰囲気再生します。

### 【まちづくりのメニュー】

- ・旧関谷宿を物語る遺産、文化遺産の発掘、展示、掲示
- ・旧関谷宿を巡る回遊ルートの整備

## 6) 塩原ダム湖及び周辺における水辺観光拠点づくり

- ・既設のもみじ谷大吊橋や回顧の吊橋などを活かした、ダム湖周辺を回遊できる歩道の整備を行い、より滞留機能を高めます。
- ・塩原ダム近傍の国道400号沿線において、民間による開発が進行しつつあることから、民間活力が積極的に生かされるよう支援するとともに、環境と調和した開発が行われ適切なサービスが提供されるよう、官民の協力体制を形成します。

### 【まちづくりのメニュー】

- ・塩原ダム周辺の整備
- ・周回遊歩道の整備
- ・箒川溪谷遊歩道の充実、眺望点の整備
- ・墓石園地及び周辺の充実
- ・国道400号沿線の民間整備の誘導・調整
- ・官民の協力体制づくり



区画整理地内の住宅地



湯の香しおばら・アグリパル塩原



田園風景



もみじ谷大吊橋

# まちづくり方針図



- |            |           |              |
|------------|-----------|--------------|
| 地域区分線      | 市街化検討ゾーン  | 幹線道路         |
| 用途地域       | 集落ゾーン     | 主要な道路        |
| 用途地域 (工業系) | 農地ゾーン     | 鉄道           |
| 用途地域 (商業系) | 平地林保全ゾーン  | 河川・疏水        |
| 用途地域 (住居系) | 自然環境保全ゾーン | 学校・コミュニティ施設  |
|            | 温泉観光ゾーン   | 文化財・歴史資源     |
|            | 山間観光ゾーン   | 公園・レジャー・自然資源 |